

スタッフ募集 (保育士、運転手)

募集要員 勤務時間
 ○児童デイサービススタッフ 14:00～19:00
 (月水木金曜)
 10:00～18:00
 (土曜)

○児童デイサービスの送迎スタッフ

詳しくは「まごころ」事務局へ
 電話0586-73-8707

1月の予定

- 1日 (日) 会報「まごころ」発行
- 4日 (水) 事務局会議
- 7日 (土) 自閉症セミナー (名古屋)
- 8日 (日) 臨時総会、定例会
児童デイ定例会
- 10日 (火) ミニデイサービス
介護勉強会
- 11日 (水) サービス提供責任者会議
- 12日 (木) 介護勉強会
ミニデイサービス (保育園)
- 16日 (月) 障害者ケアマネジメント研修
- 17日 (火) 障害者ホームヘルパー研修
ミニデイサービス
- 18日 (水) サービス提供責任者会議
理事会
- 20日 (金) 児童デイ事務局会議
障害者ケアマネジメント研修
- 24日 (火) 精神障害者ホームヘルパー指導
者研修会
市民協愛知幹事会
移動ネットあいち理事会
ミニデイサービス
- 25日 (水) サービス提供責任者会議
- 26日 (木) 障害者ケアマネジメント研修
ミニデイサービス (保育園)
- 27日 (金) 障害者ケアマネジメント研修
- 29日 (日) 知的障害者移動介護従業者
養成研修講座開催 (まごころ)
- 31日 (火) ミニデイサービス

ふれあい広場

*支援費児童デイサービス		
毎週 月、水、木、金	15時～18時	
毎週 水、金	9時半～12時	
毎週 土	10時～17時	
*太極拳 毎週 火	16時～17時	
*中高年のピアノ教室 第2、4月曜	9時～12時	
*中高年の体操教室 第1、3、5月曜	10時～12時	
*ふれあい広場でお茶 毎週 木曜	10時～12時	

④③②①
 他Lチ急
 のレエプ
 車ンーレ
 もジンー
 止でなキ
 ま徐ど
 れ行の急
 な運滑発
 い転り進
 のに止
 で徹め急
 割すを加
 りる必速
 込まず装
 ない 備ハ
 ンドルの
 厳禁

ワーカーさんへ
雪道の運転についての注意

心身機能活性化療法指導士認定講習会中止のお知らせ
 平成十八年二月二・三日に予定して中止しましたこと、心身機能活性化療法指導士認定講習会中止のお知らせ

悪質商法にあわない為に

2005年11月17日 (木) 一宮市介護サービス事業者連絡会で消費者問題出前講座がありました。
 被害にあわないためのアドバイスとして、消費生活専門相談員のお話をまとめてみました。

- ☆ 無料点検といわれても、すぐに玄関を空けない。
- ☆ 契約は一人ではない、すぐにはしない。
- ☆ 業者の説明をうのみにせず、家族や身近にいる人に相談する。
- ☆ 契約してしまってもあきらめないうで、クーリング・オフする。

ヘルパーが訪問した時

- ☆ いつもと違う荷物や同じ商品が何個も届くようなことに気づいたら、クーリング・オフの方法を教える。

判断能力の低下した高齢者を悪質商法から守るために

- ☆ 成年後見制度を利用すれば契約を取り消すことができる。
- ☆ 市町村の高齢者福祉担当に相談する。

尚契約書に×を記入した場合には印にも×を記しましょう。

クーリングオフ (Cooling-off) とは、頭を冷やして良く考え直す期間を消費者に与え、この一定の期間 (熟慮期間) 内であれば消費者が業者との間で締結した契約を一方的に解除できるという制度なのです。

愛知県障害者ケアマネジメント従業者研修に参加

「まごころ」では、4月からスタートする障害者自立支援法に基づく障害者のケアマネジメント従業者研修に参加します。
 あらゆる角度からケアマネジメントが要求されており、より良いサービスを提供出来るよう研修の機会をいただきました。
 福祉動向や権利擁護、苦情解決、利用者支援、家族支援、人的支援、精神障害者の生活ニーズ、聴覚・言語障害者児童の生活ニーズ、ケア計画など、様々な内容で5回にわたって行われます。

11月の助け合い活動	
有償活動件数	33件
有償活動人数	39人
ミニデイサービス利用者	65人
移動サービス利用件数	284件
ふれあい広場利用回数	12回
助け合い活動時間	526.5時間
補助事業(精神障害者在宅)	8時間

11月児童デイ(午前)	
児童デイ開所日	2日
延べ参加人数	8人
参加人数/日	4.0人/日
11月児童デイ(午後)	
児童デイ開所日	21日
延べ参加人数	189人
参加人数/日	9.0人/日

11月の支援費活動	
訪問件数	33件
身体介護	172.5時間
家事援助	109時間
移動介護	78.5時間
日常生活支援	12時間
合計	372時間

11月の介護保険活動	
利用件数	55件
生活援助	448時間
身体介護	670時間
合計	1118時間

11月の会員登録	
協力会員	63人
利用会員	98人
賛助会員	112人
合計	273人

2月の定例会

2月5日 (日)

定例会 9:30～10:30
 介護勉強会 10:30～12:30
 児童デイ定例会 13:30～15:00

ある外科医の独り言

高 勝義

ある船長の決断
 二十年ぐらい前のことである。私はダイビングにはまっていた。日曜日になるとダイビング仲間と北陸や尾鷲や伊豆の海のダイビングを楽しんでいた。

そんな時、九州の学会に出席したついでに、山下病院に勤めていた看護婦の実家である五島列島の一つ、奈留という島を訪れたことがある。

看護婦の家族の方々は、病院の先生が島を訪れたことを大変喜んでくださり、大歓迎をして下さった。島に着いた夜は大酒盛り。そして次の日は看護婦の兄の若い船長に海につれていってもらいダイビングを楽しんだのである。

ダイビングのポイントに移るまでの船の中、海の恐ろしさ、まだそんなに年をとっていない父親が船長を辞め、若い息子が船長になった理由などを聞かされたのを今も鮮明に覚えている。

大海原の中、一枚板の下は地獄である。たった一枚の板によって船は浮かんでいるのである。漁に出る船の中には船長だけではなく数人の漁師が乗っている。今日沖に出るか出ないか、船を引き返すかどうか、どんな方向に進むかは船長の判断によって決められるのである。船長の判断が一つ狂えば、一枚板の上に乗っている船員は命を失いかねないのである。真に船長の責任は重大である。

とある日、父親は海を恐ろしいと感じたそうである。そして、もう自分は船長を辞める潮時と感じて息子さんに船長を次がせたというのである。海の恐ろしさに怯え、判断を誤り、大切な船員の命を危険にさらしてはならないという事のようなのである。

最近の私はどうであろうか。まさに二十年前の船長に似ているのではないかと最近つくづく思う。若いときは気力も体力もあり、少々の困難に立ち向かうことができた。患者さんのためなら徹夜も惜しまなかったし、自分の命などどうでも良いという気持ちがあった。若い医者を怒鳴りつけ、指導し、立派な医師に育て上げる気力があつた。

年をとり偉くなるにつれて、医療の現場ばかりではなく、経営も考えなくてはならなくなりました。昔に比べて気力も体力も衰え、時には医療に対して恐怖すら感じる時がある

こんな状態で手術を行い、患者さんの大切な命を預かることは、患者さんに真に申し訳ないことである。

沖に出て行く船を見守る陸に上がった船長のごとく、そろそろ医療の現場を若い医師に任せる時が来たようである。

(山下病院)

雪景色のリハビリ公園
 2度にわたる暮れの大雪で公園の雪がなかなか
 解けませんでした。
 日課の落ち葉掃除も雪かきに入れ替わり

